

帯広大谷短大生7名が議会を傍聴

6月10日の一般質問を、帯広大谷短期大学の地域教養学科7名の学生が傍聴しました。いただいた感想の一部を紹介します。

○議会を傍聴し「空きの増加」「SDGsとの兼ね合い」など自分の町でも現実起こっていることなのだという気付きを得られました。議会はなんとなくあなあで進んでいるのだと思い込んでいたが、議論がややヒートアップする場面があり、良い意味で予想を裏切られ、議会の誠実さを感じ、議会は住民の代弁者であるということを再認識させられました。議場の中で水が飲めるようになってきたらなお良いのと思いました。

○音更町役場の方、議員の方々のおかけで音更町は住みやすい、環境の良いまちづくりができ、成り立っていると思います。機会が

あればまた積極的に傍聴したいと思います。○コロナ対策もしつかりと行われていて休憩時間に入るたびに窓を

開けて換気をし、努力しているとわかりました。テレビやスマホからは感じられない熱量や雰囲気伝わってきて、とても面白かったです。

○議員側からも町側からも「音更町をさらに住みやすい町にしていこう」という思いが共



ヒートアップする議論 (大谷短大傍聴)

通して感じられました。本当に音更町を愛している、音更町を素晴らしい町にしたいという思いが伝わってくるものでした。音更町に訪れるたび「いい町だな」と感じていましたが、そう思う背景には音更町議会の努力があるからだと思ふことができました。

○議会と聞くと難しい話をしている場所、大人ばかりで若い人たちは行かない場所、国会のようなお堅い場所というイメージを持っていました。議場に入るとテレビでみる国会と同じように緊張感がありました。自分も政治に参加している意識や興味関心をもつことができる場だと思いました。若い人たちが一度足を運んでほしいと思います。

○議会を傍聴し、一般質問に対しそれぞれの部局の代表が真剣に答

弁をする姿勢に、この町を良くしたいというおもいが垣間見えました。また、普段は見ることのない議員らの熱意を感じられとても良い経験になり、自分も音更町や十勝がより好きな街になるよう理解を深めたいと思いました。

○傍聴者にも一般質問の内容の紙が配布され、質問の内容を事前に把

握することや、質問内容が聞き取れなくても見ることができ、すごく助かりました。ただ、議会で話し合う内容は少し難しく感じ、わからない用語もあり、誰にでもわかる用語を用いてほしいなと思いました。今後のまちづくりのために一人ひとりが熱く語ることに、信頼性のあるよりよい町になると感じました。

議会を傍聴しませんか

議会の会議は、本会議、各常任委員会とも公開しています。

議場や会議室の入口前の受付票に住所、氏名、年代を記載していただければ、自由に傍聴することができます。

会議の日程は、新聞、町のホームページに掲載されますが、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

問合先 議会事務局

0155-42-2111 (内252・253)

ホームページアドレス

<http://www.town.otofuke.hokkaido.jp>